



図6.13 階層ベイズによる緩和型分子時計を用いたハチドリ科の分岐年代推定

図6.11で用いた分子データと樹形に基づく。矢印で示した枝はハチドリ科の共通祖先。(a) 分子進化速度 $\mu$ 、分散パラメータ $\sigma^2$ 、出生死滅過程に関するパラメータ、化石記録に基づく制約条件から推定した分岐年代の事前確率分布。ノード上の青い帯は事前確率の95%信用区間を示す。(b) 自己相関モデルを用いた分岐年代の事後確率分布。ノード上の青い帯は95%最高事後密度信用区間を示す。(c) 独立速度モデルを用いた分岐年代の事後確率分布。ノード上の青い帯は95%最高事後密度信用区間を示す。